

# 富士山と生きるジモティー

山梨県庁国際交流員  
リウ・ケイティ



## JET地域国際化塾

2023年11月に毎年都道府県が持ち回りで開催している国際化塾が山梨県で行われました。私は2023年の8月付で山梨県庁に国際交流員として着任したので、参加することが出来ました。国際化塾とは何？

簡単に言うと、地域づくり活動の現地視察、グループワークを通じて、地域の魅力についての理解を深め、地域活動への参加や貢献について考えてもらうものです。現地視察は富士山、甲府、甲州、峡南の4つの地域に分けて行われました。この地域国際化塾を通じて山梨県を味わい、参加した富士吉田の周辺の豊かさに驚きました。

### 昭和にタイムスリップ！

時間が止まってしまったようなレトロな商店街と富士山の景色を見たかったので、富士山エリアを選びました。最近SNSで流行っている観光スポットになってきたので、皆さんも見たことがあると思います。正式な名称は「ほんちょう2丁目商店街」です。

SNSの拡散力のおかげで、観光客の聖地になりました。富士山はシャイでたまに見えない時もあります。当日は少し曇りの日でしたが何とも言えない素晴らしい景色でした！

後で調べたところ、この街には昭和な建物が数多くあります。新世界乾杯通りに入ると、懐かしさを感じるとても良い雰囲気のもと、古い看板や店が多く、昭和の時代にタイムスリップしたようです。昔はかなり賑やかな場所だったそうですが、今は人通りが少なく静かな通りです。

富士吉田市の織物産業は1000年以上続く歴史があり、古くから織物の名産地として知られています。1960年頃から海外の安い織物の輸入により、織物の産業は大打撃を受け、衰退してしまいました。しかし、近年若い世代のデザイナーが富士吉田に移住し、活動するようになりました。

片岡デザイナーは東京出身で、地域づくりのため富士吉田市に小さな土産店をオープンし

## 記事の内容

JET地域国際化塾

昭和にタイムスリップ！

青木ヶ原樹海

御朱印帳作りを体験しよう！





ました。店の名前は「GOOD OLD MARKET」です。デザイン・芸術に興味があり、ハガキを購入しました。さらに、JET地域国際化塾の参加者にはトートバッグ、和紙テープやステッカーなどの記念品が配られました。ほとんどの商品はオシャレで、富士山のイラストも描いてあります。土産の購入のため、一度「GOOD OLD MARKET」の店を見てみませんか？

### 青木ヶ原樹海

青木ヶ原樹海の印象は？ ...と聞かれると「怖い」イメージが色濃く残っていると思いますが、本当にそうなのでしょうか？

デジタル時代の到来で、情報がすぐに得られるようになり、そのような噂が耳に入っていると思います。

私も同じことを思いました。樹海は暗いイメージのため、青木ヶ原に行く日が来るとは思わなかったです。

しかし、実際に他の参加者と一緒に森に足を踏み入れると、想像していた恐ろしい雰囲気ではなく、ガイドの千代さんがたくさん森の始まりや自然などについて解説してくれたので、勉強になりました。

青木ヶ原は富士山の噴火で流れた溶岩の上でできた森で、その名前の由来として、森を上から見ると、風にたなびく緑が海のように見えるため「樹海」と名付けられたという説があり、詩的な意味があります。

### 御朱印帳作りを体験しよう！

そもそも御朱印とは何？ 御朱印とは神社やお寺を参拝した「証明」として押印される印影のことです。いわば、「神仏とのご縁の記録」です。御朱印帳は、神社やお寺を参拝した際に頂くことができます。そして御朱印の金額については、300円から500円が全国的に多いそうです。

光織物有限会社に訪れた際、伝統和柄で作る御朱印帳の制作体験を楽しみました。様々なデザインがあり、桜のパターンと紫龍を選びました。本当にユニークな体験でした！ 神社巡りで御朱印を集めるのが好きな方は、オリジナル御朱印帳を作ってみませんか？



光織物